令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験　専門科目
人文社会科学専攻　心理学プログラム

出題の意図等

心理学プログラムでは，人間の行動と心理過程に関わる高度な研究と専門性を追求する人材，心理学各領域の多様な視点から研究や課題解決に取り組む人材を求めているため，心理学研究法と専門領域の問題を設定している。それぞれにおける出題の意図は，下のとおりである。

なお，本科目の問題は，一義的な解答が示せない記述式の問題に該当する。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため，解答又は解答例の記載は省略する。

Ⅰ．［心理学研究法］

心理学研究における研究法，研究を実践するための技法に関する知識と説明力を問う問題である。

（解答のポイント）研究法に関する用語・概念の定義の正確さに加え，その背景，関連する研究内容，具体例などを多面的に評価する。加えて，論述の論理構成やわかりやすさについても評価する。

Ⅱ．［専門領域］

心理学における様々な概念に関する知識と説明力を問う問題である。人間の行動と心理過程に多様な視点から取り組むことのできる専門性が重要であるため，心理学における複数の領域からの選択を求めている。

（解答のポイント）心理学各領域における重要な用語・概念の定義の正確さに加え，その背景，関連する研究内容，具体例などを多面的に評価する。加えて，論述の論理構成やわかりやすさについても評価する。